こよみのよぶね スケジュール

【冬至迎え】 １６時～１７時３０分ごろ　鵜飼観覧船のりば
刻々と変わる黄昏の空の色を背景にして、いろいろな色の和紙で彩られた１から１２の数字行燈に明りがひとつずつ灯ります。12個の数字行燈を載せた12隻の屋形船が岸辺で冬至の長い夜を迎えます。（船を間近で見るには一番いい）

【 出 船 】 １７時３０分ごろ　鵜飼観覧船のりば岸
船頭さんが船に乗り込み、干支船が先頭で、1月船から順番に2月船、3月船と一隻ずつ、川岸から船出していきます。（動き出す始まり感を感じるには一番いい）

【顔見せ】 １８時ごろ　長良橋付近　右岸プロムナード
「こよみのよぶね」が長良橋をくぐり、下流から上って来ます。（長良橋から見ると数字行燈が次々と進んでいくのがよく見えます）

【お山下楽屋】 １８時３０分ごろ　お山下川原
12隻がお山下の川原で、時を待ちます。

【時の流れ】 １９時～２０時　長良川右岸プロムナード
太鼓の音と供に1月船から順番に上流から「こよみのよぶね」がながれてきます。「すぎ山」前の川岸に1隻ずつ接岸し、巫女により「こよみっけ」引き渡しの式が行われます。その後にはすべての月舟が金華山を背景にして川面に1列に並ぶ、総がらみで締めくくります。（川面に映るこよみのよぶね・屏風が如くの金華山・天に輝く岐阜城が織りなす風景は、一年でこの日この時にしか出会えません、必見です）

【お見送り】 ２０時過ぎころ
時がながれて行きます。10月船のあとに、11月船、そのあとに12月船、こうして今年の時が過ぎていきます。そして今年の干支である卯（うさぎ）を乗せた干支船も役割を終えて、長良橋の下へとながれて行きます。今年を振り返りつつ、来年へとつながる時を告げます。

【楽日初日】 ２０時３０分～２１時ころ　鵜飼観覧船のりば
終わりは始まりのしるしです。ながれついた数字行燈を岸にあげて、解体し次の姿へと繋げます。骨組みの竹から和紙を剥がします。この作業は当日見に来た方々も参加できます。願い事を竹からはがした数字行燈の和紙を持って帰って、そこに願い事を書くと、その数字行燈の月にかなうとか…。「こよみのよぶね」の想い出にどうぞお持ち帰りください。竹は、束ねて左義長袋に納めます。終了後に「こよみのよぶね」で使用した和紙をプレゼントします。

各地でワークショップを開催しました！

中津川市
郡上市八幡町
一宮市木曽川町
ハートフルスクエアーG
ドリームシアター岐阜
やながせ倉庫
まるごと環境フェア

特別制作
宮城県石巻市
特別協力
石巻市社会福祉協議会
仮設開成団地のみなさま
栗の里　中津川
カヌートレック四万十塾

ワークショップ参加者を募集しています！

ワークショップ参加者を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。
http://www.dnaand.org/
こよみのよぶね　検索

JR岐阜駅・名鉄岐阜駅からのアクセス

▶バス：長良橋を経由する岐阜バス【10番・11番・12番のりば】にて約15分、「長良橋」で下車してください。大人200円、子供100円。
▶タクシー：ＪＲ岐阜駅・名鉄岐阜駅から、約15分。約1,500円。

お問い合わせ先 こよみのよぶね実行委員会事務局 ＴＥＬ：０５８-２９４-７６７１ 【12/22 本番当日のお問い合わせは、０９０-１５６８-９７９６（加納）まで】